

藤沢市教育委員会 10月定例会 会議録

日 時 2024年(令和6年)10月17日(木)
午後3時00分～3時35分
場 所 藤沢市役所本庁舎8階 8-1・8-2会議室

- 1 開会
- 2 会議録署名委員の決定
- 3 前回会議録の確認
- 4 その他
 - (1) 令和6年9月藤沢市議会定例会の開催結果について
 - (2) 令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果と分析について
 - (3) いじめ重大事態の調査結果の報告について(その1)
 - (4) いじめ重大事態の調査結果の報告について(その2)
- 5 閉会

出席委員

- 1 番 岩 本 將 宏
- 2 番 飯 盛 義 徳
- 3 番 種 田 多化子
- 4 番 石 井 由 佳
- 5 番 井 沼 隆 史

出席事務局職員

教育部長	川 口 浩 平	生涯学習部長	板 垣 朋 彦
教育部参事	坪 谷 麻 貴	生涯学習部参事	横 田 隆 一
教育部参事	加 藤 財 英	生涯学習総務課主幹	田 高 敏 也
教育総務課主幹	高 瀬 有 希	生涯学習総務課課長補佐	三 部 梨加子
教育指導課長	丸 谷 英 之		
教育指導課主幹	平 田 憲 司		
教育指導課指導主事	林 理 絵		
教育指導課指導主事	森 学		
教育文化センター長	作 道 実		
教育文化センター指導主事	寺 内 昭 雄		
学務保健課長	宇 野 匡		
学務保健課主幹	柏 崎 浩 通		
学校給食課長	濱 野 光 平		
学校施設課長	木 下 尊 人		
書 記	小 門 前 清 彦		

午後 3 時00分 開会

岩本教育長 皆様、お待たせをいたしました。
定刻となりましたので、ただいまから「藤沢市教育委員会 10月定例会」を開会いたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

岩本教育長 それでは、会議録署名委員を決定いたします。
本日の会議録に署名する委員は、5番の井沼委員、2番の飯盛委員に
お願いしたいと思いますが、ご異議ありませんか。
(「異議なし」の声あり)

それでは、本日の会議録に署名する委員は、5番の井沼委員、2番の
飯盛委員をお願いをいたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

岩本教育長 続きまして、前回の会議録の確認をいたします。
何かございますでしょうか。

(訂正等発言：なし)

特にないようですので、了承することに、ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、了承することといたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

岩本教育長 本日は、議案がありませんので、「その他」に入ります。
報告を始める前に、その他(3)「いじめ重大事態の調査結果の報告に
ついて(その1)」及びその他(4)「いじめ重大事態の調査結果の報
告について(その2)」は、個人情報にかかわる案件であるため、地方
教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書の規定
により、非公開の扱いとしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議がないようですので、その他(3)及びその他(4)につ
きましては、後ほど非公開での取扱いといたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

岩本教育長 それでは、まず、その他(1)「令和6年9月藤沢市議会定例会の開催
結果」について、教育部及び生涯学習部の報告を求めます。

川口教育部長

川口教育部長 「令和6年9月藤沢市議会定例会の開催結果」につきまして、ご報告
いたします。(議案書参照)

議案書の1ページから2ページにかけては、令和6年9月定例会

運営日程で、9月市議会定例会は、9月2日から10月8日までの37日間で開催されました。

それでは、初めに教育部について、ご報告いたします。

8月の教育委員会定例会にてご審議の上、ご決定いただきました「鶴南小学校等改築工事」に係る議案「工事請負契約の締結について」につきましては、9月4日、本会議において可決されました。

また、同じく8月の教育委員会定例会にてご審議の上、ご決定いただきました議案「令和6年度藤沢市一般会計補正予算」につきましては、9月11日の補正予算常任委員会に付託、委員会での審査の結果、可決すべきものと決定され、9月17日の本会議において可決されました。

議案書の3ページをごらんください。

次に、9月9日に開催されました、子ども文教常任委員会につきまして、ご報告いたします。

今回、教育部に係る案件は、報告案件が2件でございます。報告(2)「第4期藤沢市教育振興基本計画の策定について(中間報告)」につきましては、4ページから33ページの資料に基づいて、また、報告(3)「令和7年度使用藤沢市教科用図書の採択について」につきましては、34ページから62ページの資料に基づき、報告をいたしました。

続きまして、議案書の67ページをごらんください。

「一般質問」につきましては、10人の市議会議員から教育部に関連する質問がございました。質問の件名と要旨につきましては、67ページから70ページに記載のとおりで、下線または二重線で要旨の最後に【教育部】と記載している箇所が、教育部に関連する質問でございます。

議案書2ページにお戻りをいただきまして、「令和5年度藤沢市一般会計歳入歳出決算の認定について」を報告いたします。

「令和5年度藤沢市一般会計歳入歳出決算の認定について」は、9月27日に設定されました決算特別委員会に付託され、質疑、討論を行い、採決の結果、認定すべきものと決定され、10月8日の本会議におきまして、討論、採決の結果、認定されました。

なお、常任委員会のほか一般質問の詳細な内容等につきましては、市議会ホームページにおいて録画配信や、今後、会議録の公表がございしますので、説明は省略させていただきます。

教育部にかかわる部分についての報告は、以上でございます。

板垣生涯学習部長 令和6年9月、藤沢市議会定例会の開催結果について、生涯学習部にかかわる部分のご報告をいたします。(議案書参照)

議案書の1ページをごらんください。

8月の教育委員会定例会にてご審議の上、ご決定いただきました「村岡公民館、消防団第6分団器具置場改築工事」に係る議案「工事請負契約の変更契約の締結について」につきましては、9月4日の本会議において可決されました。

次に、議案書の3ページをごらんください。

9月9日に開催されました、子ども文教常任委員会につきまして、ご報告いたします。

今回、生涯学習部に関する案件は、報告案件が1件ございました。報告(4)「社会教育関係事務の市長部局への移管について」につきましては、議案書の63ページから66ページの資料に基づきご報告いたしました。

続きまして、議案書の67ページをごらんください。

一般質問につきましては、生涯学習部に関連する質問が、4名の議員からございました。質問の件名と要旨につきましては、67ページから70ページに記載のとおりで、二重線で、要旨の最後に《生涯学習部》と記載している箇所が、生涯学習部に係る質問でございます。

なお、常任委員会のほか一般質問の詳細な内容等につきましては、先ほどの教育部からの報告のとおりでございます。

以上で、教育部及び生涯学習部に係る、「令和6年9月藤沢市議会定例会の開催結果について」の報告を終わります。

岩本教育長

教育部及び生涯学習部の説明が終わりましたが、ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問がありましたら、お願いをいたします。

種田委員

報告ありがとうございます。

3ページの、子ども文教常任委員会のところで、議案1と2は、どのような一部改正になっているのか、教えていただけたらうれしく思います。

また、3、4の陳情については、どのように処理されたか、お尋ねしたいと思います。よろしく申し上げます。

岩本教育長

板垣生涯学習部長。

板垣生涯学習部長

ただいまのご質問ですけれども、議案の第26号、第29号につきましては、子ども青少年部の所管になりますので、教育部及び生涯学習部では、お答えできる内容ではないというところと、陳情につきましても、同じように子ども青少年部になりますので、こちらについても、我々としてはお答えすることはできないということでございますので、ご理解いただければと思います。

岩本教育長

先ほどの報告は、5番の(2)、(3)、(4)でございますので。

種田委員

よくわかっていないもので、ありがとうございます。

それでは、一般質問のところ、68ページ、教育部と生涯学習部の両方にかかわっているみたいですが、「部活動の地域移行」の環境整備について、どのような質問があって、どう答えられたかをお尋ねしたいのと、最後の70ページで、「障がい者スポーツについて」、デフリンピックについて質問があったようですが、こちらについても、どのような質問で、どう回答されたのか、お尋ねしたいと思います。

よろしく申し上げます。

岩本教育長

川口教育部長。

川口教育部長

それでは、初めに議案書の68ページの「部活動の地域移行」で、教育部と生涯学習部でご答弁をした内容ですけれども、今、市内には19の公立中学校がございまして、この中学校の部活動の地域移行は、今まで部活動は学校の先生が指導をされていたり、中には地域の方が部活動指導員として指導をしていただいている中学もありますけれども、国においては、教員の働き方改革の一つの取組として、部活動を学校の先生が指導するのではなくて、地域にあるクラブであったり、それから地区の中に、そういう指導ができる方に、部活動の指導をしていただきましょうというようなことが、国で示されています。

その取組を、今、藤沢市でもしているところで、教育部側としては、具体的にどんなことをしているのかということで、昨年ですけれども、部活動地域移行の会議体をつくり、その中で議論をしてきたことであったり、あと、試行的な取組として、2つの中学校で部活動を具体的に、その地域の地域資源と言われるスポーツクラブに委託をして、指導をしていただいているというような内容をご説明しながら、今年度は、もう一つ、地域移行の取組を試行で、モデル事業としてやっていますということでご報告をさせていただきました。

生涯学習部側は、それについて、その地域資源のあり方とか、生涯学習部としてどのように支えていくのかということで、スポーツ行政にしても、文化芸術にしても、様々な活動をされている方がいらっしゃる、そういった方たちがサポートをできるのであればサポートをしていただくというような内容でご答弁をさせていただいたりしました。ただ、道半ばなので、まだこれからしっかり取り組んでいくという、ご質問に対する回答になっています。

以上でございます。

種田委員

ありがとうございます。

岩本教育長

三部生涯学習総務課課長補佐。

三部生涯学習総務課課長補佐　ただいまのデフリンピックについての一般質問について、
でございますが、生涯学習部といたしましては、現在の取組状況と今後
取り組む予定の内容、そして、共生社会を推進する上での取組、また、
今後の障がい者スポーツにつきまして、障がい者スポーツ連絡協議会等
関係機関と連携しながら推進に取り組んでまいりたいという答弁をさせ
ていただきました。

以上になります。

種田委員　デフリンピックは来年度に予定されているので、細かな内容等がそろ
そろ決まってくるとうれしいなと思っております。

ご説明ありがとうございます。

岩本教育長　ほかにはいかがでしょうか。

(意見、質問等発言：なし)

それでは、報告を終わりにいたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

岩本教育長　続きまして、(2)「令和6年度『全国学力・学習状況調査』の結果と
分析について」、事務局の報告を求めます。

丸谷教育指導課長　それでは、「令和6年度『全国学力・学習状況調査』の結果と分析に
ついて」、報告いたします。(議案書参照)

議案書72ページをごらんください。

「1 調査の概要と目的」でございます。

全国学力・学習状況調査は、これまでの教育活動や教育施策の成果と
課題等を把握・検証し、今後の教育活動に生かすことを目的として、小
学校6年生及び中学校3年生を対象に実施されています。

なお、本調査で測定できるのは、学力の特定の一部であること、学
校における教育活動の一側面であることが、国の調査実施要領で示され
ておりますので、そのことを踏まえて結果を報告するものでございます。

「2 実施状況」、でございます。

(1)の「調査内容」は、ア 児童生徒に対する調査、イ 学校に対す
る質問調査がでございます。

「児童生徒に対する調査」は、教科に関する調査として、小学校の国
語、算数、中学校の国語、数学、そのほかに、生活習慣や学習環境等
に関する質問調査が実施されています。

(2)「実施校数」、(3)「実施人数」につきましては、資料をごらん
ください。

「3 平均正答率一覧表」でございます。

平均正答率は、平均正答数を設問数で割った値の百分率を整数値で示

したものです。なお、全国値につきましては、小数点第一位を四捨五入した数値を掲載しております。

73ページをお願いします。

「4 教科に関する調査結果の内容について〈小学校 国語〉」を使って説明をさせていただきます。

①では、学習指導要領の分類別平均正答率と設問数を表にまとめ、その結果を右側の図にお示しいたしました。

②では、設問ごとに見られた結果を、本市の正答率、無回答率、全国の平均正答率との差に着目し、「おおむね理解していると思われる点」、「課題として見られる点」を取り上げました。

③は、児童生徒の質問調査の中から、教科の結果に関係するものの一部を取り上げ、数値をお示ししました。

④は、取り上げた課題に対する指導改善の手立てとなります。

〈小学校国語〉におきましては、「人物像」や「物語の全体像」を具体的に想像したり、「表現の効果」を考えたりする設問に課題が見られました。

74ページをごらんください。

〈中学校国語〉は、文章と図とを結びつけ、その関係を踏まえて内容を解釈する設問に課題があると捉えております。

75ページをごらんください。

〈小学校算数〉は、道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する設問に課題があると捉えております。

76ページをごらんください。

〈中学校数学〉においては、複数の集団のデータの分析の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する設問に課題があると捉えております。

77ページをごらんください。

児童生徒を対象に実施された質問調査の中から、学習に関連する項目を抜粋し、「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」と回答した比率を合計した数値を、全国値とともにお示ししたものです。

78ページをごらんください。

「6 児童生徒質問調査結果の特徴と考察」になります。

分析に当たっては、過去の数値、経年変化、全国との比較、平均正答率との相関関係などを、先ほどの一覧表で示した7つの項目に分けて分析いたしました。

「基本的な生活習慣」においては、平日の1日当たりのSNSや動画視聴の時間の令和4年度との比較や、平均正答率との関係を分析しました。

79ページをごらんください。

「自己有用感」につきましては、令和3年度からの経年変化をお示しました。小中学校とも増加傾向にあり、現在の中学校3年生が小学校6年生のときよりも上昇していることも確認できます。

参考に、「先生がよいところを認めてくれる」ということに関するグラフをお示しました。先生方や大人のかかわりが、子どもたちの自己肯定感、自己有用感に影響しているものと分析しています。

「地域社会」につきましては、昨年度からの質問になりますが、地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童生徒が、全国的に前年度より増えたと報告されていますが、藤沢市も同様の傾向が見られます。

80ページをごらんください。

「ICTの活用について」でございます。中学校では、授業におけるICT機器の利用回数の増加が確認できます。また、タブレット（1人1台端末）の効果についてもお示ししています。

81ページをごらんください。

「主体的・対話的で深い学びについて」でございます。特に授業における発表活動などは、「工夫して発表する」と回答した児童生徒が、全国に比べて高い数値となっております。

また、「総合的な学習・学級活動について」は、いずれにおいても肯定的な回答に増加傾向がありますが、全国値と比べると、若干低い傾向があります。

82ページをごらんください。

こうした分析を踏まえ、学校・教育委員会として取組を進めていくことを、大きく3点挙げさせていただきました。

また、保護者の皆様へは、生活習慣を身につけることや、自己肯定感への働きかけの2点を挙げさせていただきました。お読みいただければと思います。

以上で、「令和6年度『全国学力・学習状況調査』の結果と分析について」の報告を終わります。

岩本教育長

事務局の説明が終わりましたが、ただいまの報告につきまして、ご意見、ご質問がありましたら、お願いをいたします。

石井委員。

石井委員

ご説明ありがとうございました。ほぼ感想になってしまいますけれども、一つ、とてもよかったなと思うことは、対話的な学びをしていこうという藤沢市の方針が、次第に効果も出ていて、とてもいいのではないかなと思いました。

また、自己有用感もアップしているというところは、先生方のサポートのたまものかなと思っております。

あと、国語などでは、「読むこと」という場面で、小学校では、全国レベルより若干低目であったかなと思いますけれども、中学ではアップしていて、これも教育の成果かなと思いました。

ちょっとだけ残念だったのは、小中学生とも国語、算数、数学において、「この学問が社会に役立つ」と思っている感が、全国より若干低かったのが、少し残念だなと思いました。

また、社会、地域への貢献も、アップはしていますけれども、小学校から中学校に向けて若干低下しているところが、受験もあるんだろうなとは思いますが、日頃の、大人からの啓蒙みたいなものも必要かなと思いました。

以上です。

岩本教育長

ありがとうございました。

ほかにはいかがでしょうか。種田委員。

種田委員

ご説明ありがとうございます。1点、質問ですが、この調査を受けた子どもたち、児童生徒の数ですけれども、小学生では、教科に関する調査は同じ人数ですが、質問調査に行きますと、人数が減っていますけれども、これは、どのようなことから、この結果になっているのか、あと、中学3年生のほうは、数字がちょっとばらばらで、反対に質問調査が増えています。この調査の状況が、もしわかれば教えてください。

あと、特別支援学級の子どもたちがどれぐらい、この教科に対する調査と質問調査を受けられているのか、その辺をお尋ねしたいと思います。

また、先ほど石井委員がおっしゃったように、私も同じ意見です。自己肯定感が去年よりも上がっているというのは、やはり先生方のご指導がいい方向に行っているのかなと思いますけれども、将来、社会に出たとき役に立つと思っている子どもが少ないのが、やはりちょっと残念だなと思いました。石井委員と同じ意見です。

よろしく願いいたします。

岩本教育長

寺内教育文化センター指導主事。

寺内教育文化センター指導主事

調査を受けた児童生徒数のずれについて、でございますが、小学校においては、実施日が違うということもあり、当日の欠席

の状況もございます。質問調査は、今回、ICTを使って実施をしておりますので、教科の調査と日にちがずれている部分もございます。

中学校においては、欠席だけではなくおくれで受験をする、あるいは部分的に受験をするという児童生徒もございますので、そういったところで数の相違が出てまいります。

特別支援学級の児童生徒がどれくらい受けているかということについて、でございますが、全体の数は把握しているわけではございませんけれども、今年度については、特別支援学級の児童で、交流級の形で、交流級と一緒に受験をするということを把握しております。

種田委員

その人数の微妙なところの違い、納得いきました。

また、特別支援級の子どもたちも、交流学級で受けられているというところもよかったなと思います。今後ともよろしく願いいたします。

岩本教育長

ほかにはいかがでしょうか。

井沼委員。

井沼委員

ご説明ありがとうございます。

非常によくまとまった資料だと思っておりますが、私からは、2点と言いますか、保護者は、この資料を全部見るかということ、なかなか全部は見ないと思います。

なので、今後に向けてとなると思いますけれども、非常にいいことが書いてありますので、これの簡易版と言いますか、1ページとか1枚で、何かパッと見てわかりやすいような形にまとめたものを出していただき、それを保護者に配っていただくことが、もし可能であれば、せっかくいものである、これを保護者にも知らせてもらいたいと思うので、できるのであればお願いをしたいと思っております。

岩本教育長

作道教育文化センター長。

作道教育文化センター長

ご意見ありがとうございます。今回の学習状況調査の結果と

報告につきまして、まとめる中で、なるべく学校にも、そして保護者の方にもわかりやすくということで、表を入れたり、字を大きくしたり、カラーで見やすくということを配慮しながら作成させていただきました。

今後もまた、学校の中でも校長会等で提示をしたり、それから、教員の研修等でも使えるように、また、この資料を学校の中でもうまく活用できるように工夫をして、うまく学校に伝えられるような形を整えていきたいと思っております。こちらで検討しながら、学校、保護者への発信の資料等の作成も含めて検討していきたいと思っております。

井沼委員

ありがとうございました。今後も、まとまったいい資料をつくっていただければいいなと思っております。よろしく願いいたします。

岩本教育長

ほかにはいかがでしょうか。

飯盛委員。

飯盛委員

私も、ほかの委員の皆様と同じように、素晴らしい資料をまとめていただいたとっております。

特に、今後に向けてのところで、学校・教育委員会の取組、そして保護者の皆様へのメッセージが書いてあるところは、とてもいい内容だなと感じました。

せっかくいい資料をまとめていただいたからということもありますが、これは中長期的に考えていただければと思いますけれども、1つは、藤沢市の特徴でもあるコミュニティ・スクールとの比較や、コミュニティ・スクールではどうであったかというところは、これからのコミュニティ・スクールの推進していく上で、とても重要なポイントになる可能性はあると思います。

例えば生活態度にしても、地域とのかかわりなど、そういったところとの比較をすることで、これからのコミュニティ・スクール推進の何かの手立てとなるデータとなるのではないかなということを感じました。

同時に、これは、部局は違いますが、各地域に「地域の縁側」という拠点があります。「地域の縁側」では、子どもが結構利用しているんですね。地域の人たちと交流しています。

そのため、「地域の縁側」を利用する、利用しないということも、何かの分析の対象にすると、福祉の関係の施設などどうまく連携して、地域とのかかわりができるような道が開けてくるのではないかなと感じますので、そういったところにも広がりを持てるかなと感じました。

あとは2つ質問ですけれども、77ページに、「学校以外で1日にどれくらい勉強をするか」というところで、「2時間以上」が、藤沢市の場合は、小中学校、全国平均に比べたら結構多くなっていると思うんですね。

もう一つ、その下の、「授業でコンピュータなどのICT機器をどの程度使用したか」では、「ほぼ毎日」のところは、全国平均から比べると、小学校も中学校もかなり低い。ここのあたりの要因というのは、何か分析をされておられるでしょうか。

「1日どれくらい勉強するか」のところは、例えば塾に行っている子が多いとか、そういうことかもしれませんけれども、もしおわかりでしたら、教えてください。

寺内教育文化センター指導主事

平日に学校以外で1日どのくらいの勉強をするかということにつきましては、本調査とは別の調査になりますが、教育文化センターで実施している「学習意識調査」というものがございます。2021

年のデータによりますと、「学校以外で習っているもの」ということの調査項目に、中学3年生の生徒が73.4%学習塾に通っているということが、資料の中にあります。こうしたことも関係しているものと考えております。

「授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用したか」ということにつきましては、「ほぼ毎日使用する」という数字が、確かに全国よりかなり低い数値として出ております。

学校においては、使用する場面を、先生たちでそれぞれ取捨選択しながら、必ずしも使えばいいということではなく、効果的にICTを活用していくという場面を工夫しております。

そのあたりも、この数値に出ているものと考えられます。

飯盛委員

ありがとうございました。

岩本教育長

ほかには、いかがでしょうか。

(質問、意見等発言：なし)

それでは、この報告を終わりにいたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

岩本教育長

以上で、本日予定いたしました公開で審議する案件は全て終了いたしました。

委員の方で、前回の定例会から今日までの間で、報告事項のある方はいらっしゃいますでしょうか。

(報告等発言：なし)

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

岩本教育長

特にないようですので、次回の会議の期日を決めたいと思います。

次回の会議でございますが、11月21日、木曜日、午後3時から、傍聴者の定員は20名、場所は、本庁舎8階 8-1・8-2会議室において開催予定ということでいかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、繰り返しますと、次回の定例会は、11月21日、木曜日、午後3時から、傍聴者の定員は20名、場所は、本庁舎8階 8-1・8-2会議室において開催予定といたします。

以上で、本日の公開での審議日程は全て終了いたしました。

どうもありがとうございました。

傍聴者の皆様におかれましては、ご退席いただきますようお願いをいたします。

午後3時35分 閉会